

平成30年度 学校評価アンケート集計結果まとめ

1 実施対象 生徒 1,040名(回収率99.3%) [97.1]
保護者 691名(回収率66.0%) [74.8]
教職員 86名(回収率74.8%) [63.4] []内はH29年度

2 実施時期 平成30年10月24日～11月13日

3 集計結果の概要

アンケートに対する評価基準は、A そう思う、B 大体そう思う、C あまりそう思わない、D そう思わない、E わからない、により回答していただきました。この結果に対して、AとBの合計が80%以上の設問と70%以下の設問に着目しました。

(1) 保護者のアンケートから

本校の行事や部活動、生徒会活動等の特別活動については日頃より大変高いご理解を頂戴しております。教科の学習だけでは学べない臨機応変な判断力やコミュニケーション能力の育成の場として重要視しております。これらの元となる教育目標や経営方針に関してもご理解を頂いて学校経営を進めさせて頂いていることに深く感謝いたします。これに対して保護者と教師との交流やコミュニケーションに関する項目は例年以上に低い値となっており、自由回答欄を合わせて考えると、「教師との意見交換の場や情報提供を求める意見」と理解することができるため課題の洗い出しと解決が求められています。

(2) 生徒のアンケートから

本校生徒は規範意識が高くルールを遵守していると認識している割合が90%を超えています。さらに、挨拶やマナーの良さに自信を持っている生徒が大変多く「この学校に入学して良かった」という回答が84%と例年以上に高い満足感を示し高校生活が充実していると考えられます。学習指導に関連する4つの調査項目のうち70%以下の項目数はH28で3項目、H29で1項目、今年度は0項目となっています。同様に教師の生徒に対する理解に関する4項目のうちH28は4項目、H29は3項目、今年度は0項目であり生徒と教師の関係が向上し信頼関係が一層築かれていると考えられます。今後とも生徒目線での指導を推進する必要があります。

(3) 職員のアンケートから

教職員は本校が掲げる教育目標が適切に掲げられ教科や分掌の目標に反映されていると認識し、法令とサービスを遵守し諸活動の活性化に向けて努力されていることが伺えます。「適切な進路選択と希望する進路達成に向けたコミュニケーション

能力・自己表現力育成指導が図られている」の評価が例年に比べて低下がみられるため3年間を見通した思考力・判断力・表現力の育成が課題と言えます。

4 次年度への課題

(1) 学習指導について

教育制度改革が進められ、主体的・対話的で深い学びが求められています。本校では生徒の学習の成果の評価方法に関する研修会の実施や各種施策について情報提供を行ってきました。今後、生徒個々の学力の定着度合を測り授業に工夫と改善を行う「学びの基礎診断」に伴う仕組みづくりについて研究を重ね実践を目指します。学習は学生の本分であるため特別活動や資格取得等との両立を図りながら質の高いキャリアを形成するために生徒理解と親身な指導を心がけます。

(2) 情報の発信と活用について

今年度は新聞を中心にのべ60回以上に渡り生徒の活動が取り上げられました。今後もマスコミに対して積極的に情報提供を行います。また、各種行事に関するお知らせが印刷物だけに依らないように電子メールやホームページを活用して情報提供を行います。このためホームページでの情報配信登録を推進します。

生徒の悩みや相談事はカウンセリング申込みポストや意見箱に投函するか先生に直接申し出る方法がとられていますが、生徒の想いが教師に伝わり易くするためにスマートフォン等を活用して意思表示できる方法を検討・実現を図ります。

(3) PTA活動の活性化に向けて

保護者の皆様には学級や年次のPTA活動に加えPTA専門部の各種事業の計画と運営、酒田祭や学校祭・体育祭など生徒のためにご尽力くださり感謝申し上げます。中でもPTA広報誌「光陵」は連続して全国表彰を頂いております。保護者アンケートの結果から「学校や生徒の様子を知りたい」「先生や保護者の方々と交流したい」というご意見やご要望が読み取れました。年次、クラスでの懇親や三者面談等の充実を図るとともに行事や授業の参観事業を推進いたします。

5 おわりに

学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。保護者・生徒アンケートのいずれも例年より高い評価を頂戴いたしました。このことに満足せず皆様からの一つひとつのご意見を真摯に受けとめ、学校経営の改善に努めてまいります。今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。